

みんなで奏でる
「にぎわい・やすらぎ・きらめき」のハーモニー



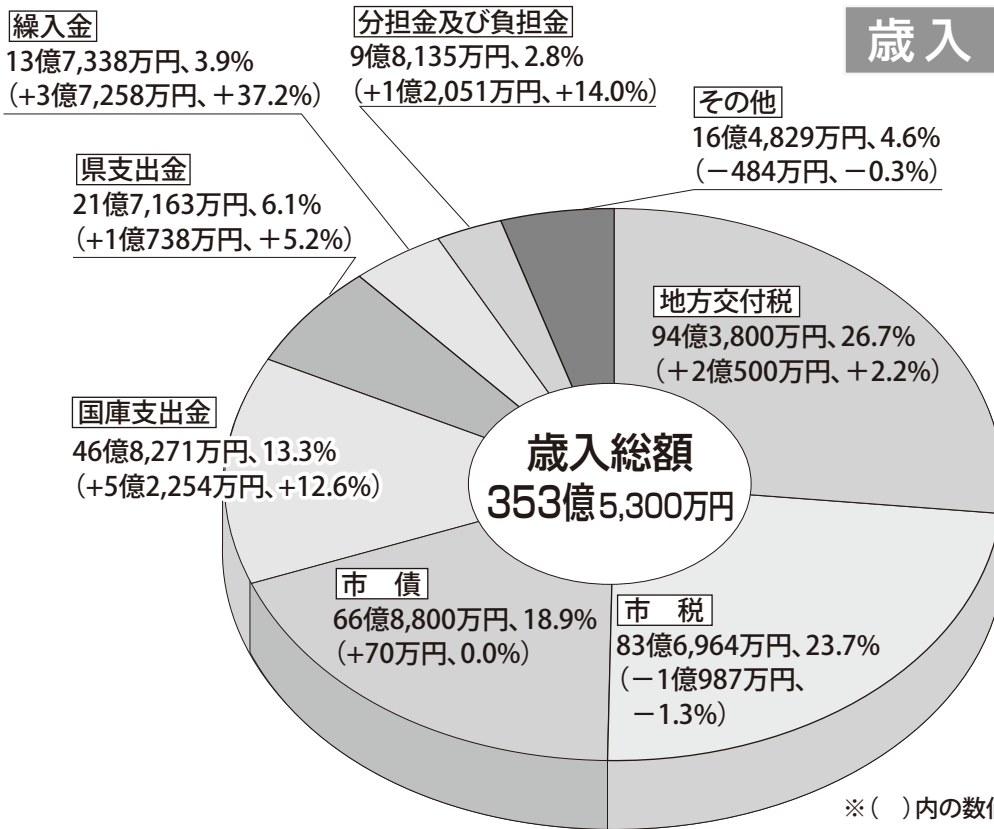
CONTENTS

予算の概要	02	実り多い産業と、人々の集うまちづくり	04
環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	06	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	10
将来像実現に向けた取り組み	11		

みんなで奏でる♪にぎわい・やすらぎ・きらめきのハーモニーを目指して

平成26年度は、市が誕生してから10年という節目の年を迎えます。昨年度策定した総合計画の後期基本計画に則り、将来像実現に向けて邁進していきます。

平成26年度一般会計予算構成



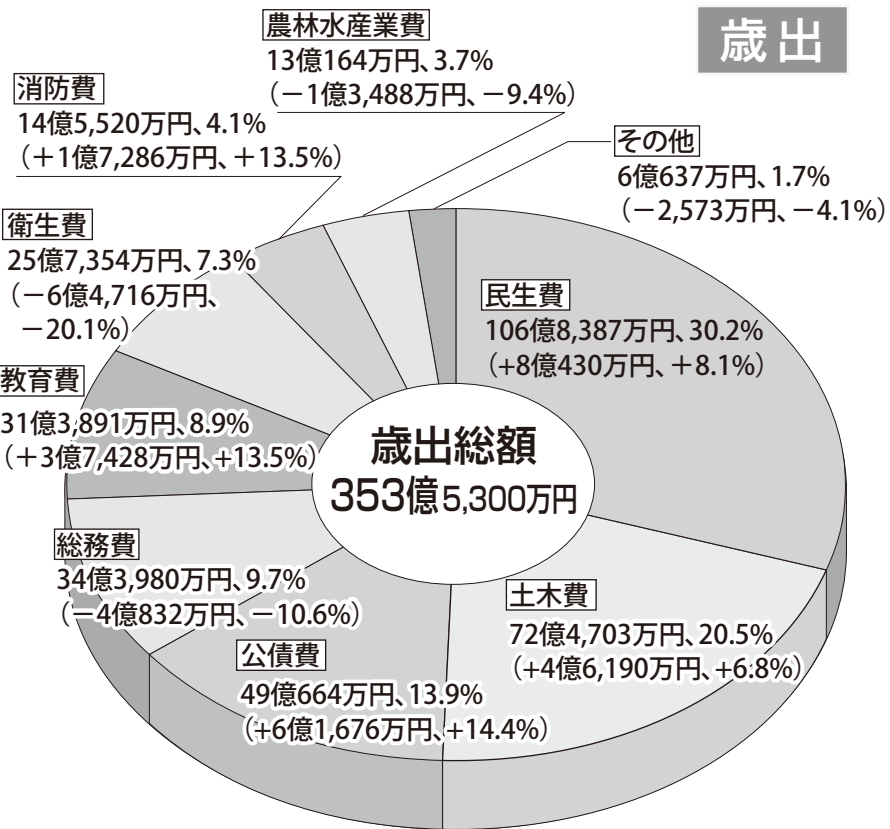
平成26年度当初予算について、市が誕生してから10年という節目の年を迎えます。昨年度策定した総合計画の後期基本計画に則り、将来像実現に向けて邁進していきます。

特別会計・企業会計予算

会計名称		26年度当初予算額	当初増減割合
特別会計		187億9,664万円	1.4%
内訳	国民健康保険特別会計	88億4,049万円	2.6%
	介護保険特別会計	56億2,353万円	5.8%
	介護サービス特別会計	1,686万円	1.8%
	後期高齢者医療特別会計	13億2,618万円	△1.1%
	公共下水道特別会計	28億8,269万円	△8.2%
	農業集落排水特別会計	4,717万円	0.0%
	簡易水道特別会計	1,392万円	△22.8%
	財産区	4,580万円	6.0%
企業会計		36億2,887万円	△25.6%
内訳	水道事業	35億5,726万円	△25.9%
	春日居地区温泉給湯事業	7,161万円	△4.0%

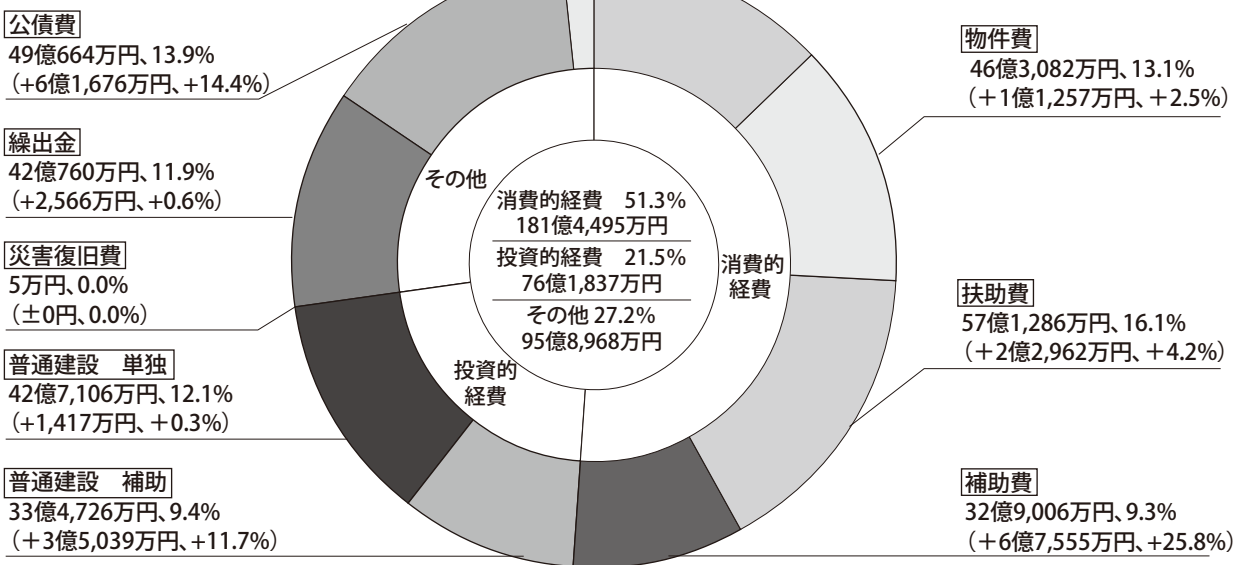
平成26年度当初予算について、市が誕生してから10年という節目の年を迎えます。昨年度策定した総合計画の後期基本計画に則り、将来像実現に向けて邁進していきます。

歳出



性質別経費の内訳

人件費、建設費、借金返済など、どのような経費にお金を使うのか。



用語		説明
歳入	地方交付税	国が、全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、自治体の財政規模など一定基準により、交付するもの
	市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税など
	市債	市が、学校や庁舎などの公共施設の整備に充てるために国や金融機関などから調達する借入金
	国庫支出金	国が、市と共同で行う事業について、予め負担割合を定めて支出するもの
	繰入金	一般会計、特別会計および基金の間で、相互に資金運用をするもの
	分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するもの。保育園の保育料など
歳出	民生費	福祉、医療、保育など
	公債費	市債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
	総務費	庁舎管理、戸籍事務、選挙費用など
	衛生費	健診、予防接種、ゴミ処理など
	人件費	職員などに対する給与、報酬
	物件費	人件費、扶助費、補助金等以外の消費的性質の経費
	扶助費	社会福祉や老人・児童福祉など安定した社会生活の保障に要する経費
	補助費	各種団体に対する負担金・補助金および交付金等の経費
	普通建設(補助事業)	道路、橋りょうなどの建設事業の経費で、国から補助を受けて実施する事業に要する経費
	普通建設(単独事業)	道路、橋りょうなどの建設事業に要する経費で、国から補助を受けることなく独自の財源で任意に実施する事業に要する経費
その他	災害復旧費	災害によって被害を受けた施設などを原形に復旧するための事業に要する経費
	繰入金	一般会計から特別会計へ基準に基づき支出するもの



実り多い産業と、 人々の集うまちづくり

美しい地域環境と有利な位置条件を活かし、人やものの、情報等の交流を促進し、ここに住み、働き、集うといった市民生活の活気と地域の経済力を高め、来訪者とともに市民の夢や価値が創り出せるまちをつくります。

人が行き交う道路・交通ネットワークづくり

道路維持管理事業【地区要望による道路の改修等】【道路・橋梁等の長寿命化】（土木課）
5億3143万円



市道の維持管理および地区要望による市道の改良工事等を行います。特に、平成25年度から国の補助事業として橋梁・道路施設の長寿命化が対象となり、改修工事、実施計画の策定を行っています。が、平成26年度は引き続き道路ストック・橋梁の点検を行い、修繕等による施設の長寿命化を行います。

砂原橋架替及び周辺道路整備事業【幹線道路網の整備】（土木課）
6億9585万円

幹線道路として、石和町砂原地区と八代町増利地区を結ぶ老朽化した既存の砂原橋の架け替えを行います。平成26年度は、引き続き上部工架設工事、床版工事を行い、併せて用地買収、一部取付道路工事を行います。

スマートIC周辺道路整備事業【幹線道路網の整備】（土木課）
1億5594万円

観光宣伝事業【笛吹市の観光資源を広く宣伝】（観光商工課）
2406万円

笛吹市の資源を広く宣伝し、本市の経済発展に寄与することを目的として、市内で行う各種イベントのポスター、パンフレットの制作および配布、各種広報媒体を利用したの宣伝活動、電車および高速バスの車内への広告掲載および車内放送を実施しています。観光市場動向ギャップ調査を行い、笛吹市の観光の強みと弱点を分析し、観光客増加のための宣伝方法と取り組み方法を考えていきます。調査結果を基に笛吹市観光活性化のための協議会等を官民共同で立ち上げ、研究会を開催します。



観光総務事業【観光施設の管理・観光団体の補助】（観光商工課）
6186万円

観光施設の電気料等維持管理費、看板用地借地料、観光団体への補助金および負担金の支払いや観光施設整備基金への積み立てを行っています。

このほか、大蔵経寺山と兜山のトレッキングコースを利用して実施されるトレイルランを観光物産連盟が後援し、運営に協力します。



平成26年度全国高等学校総合体育大会事業【煌めく青春 南関東大会2014】（生涯学習課）
2535万円

平成26年に4都県（東京都、神奈川県、千葉県、山梨県）で開催される全国高等学校総合体育大会の自転車競技を実施します。8月6日から8日までの3日間、境川自転車競技場でトラック・レースを開催し、8月9日に八代町と境川町の特設周回コース12・6kmを8周回するロード・レースを行います。

中央自動車道の八代町南区内にスマートICが設置することに伴い、周辺道路の整備を行います。平成26年度は、実施設計、用地買収を終了し、一部道路改良工事に着手します。また、整備のため、中日本高速道路(株)等の関係機関との協議、調整を引き続き行います。

機能的で魅力ある市街地づくり

石和温泉駅周辺整備事業【市の玄関口にふさわしい顔づくり】（まちづくり整備課）
19億3560万円



本市の玄関口として美しいまちなみの形成と交通拠点機能の強

桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり

新規就農者支援事業【新たな農業の担い手の確保】（農林振興課）
1480万円



30歳未満の新規就農農業後継者（専従者）に1世帯あたり月額3万円を最大5年間交付します。45歳未満の新規就農による経営者で、Iターンの場合は1世帯あたり月額100万円、Uターンの場合は1世帯あたり月額50万円を2年間交付します。

定年就農推進事業【農地利用の促進と新たな担い手確保】（農林振興課）
460万円

市内の遊休農地を整備し、都市部に在住する定年退職者等を対象に野菜圃場を貸し出します。圃場において管理人が技術指導します。（平成26年12月稼働予定）

化、ユニバーサルデザインの導入、駅北側の土地の有効利用を図ることを目的として、石和温泉駅北側の整備を推進します。平成26年度は、南北自由通路・駅舎建替、北口駅前広場の整備等を行います。

もてなしの心があふれる観光地づくり

観光イベント事業【笛吹市の観光イベント】（観光商工課）
8547万円



年間を通して、多くの観光客が誘客できるよう、桃源郷春まつりや笛吹川石和鵜飼、甲斐一宮大文字焼き、花火大会、ぶどうエキスポ、ハウス桃園の花見等各种観光関連団体と連携してのイベントとPR活動を行います。

地域農業振興事業【農地利用の促進】（農林振興課）
717万円

遊休荒廃農地の復元整備を行い、農用地の確保に努め農業の活性化を図ります。農業用機械等購入補助金・認定農業者、新規就農者等に対し、作業の軽減および機械化を推進支援するため、購入費の一部を補助します。【平成26年度新設事業】

農産物等消費拡大宣伝事業【農産物の販路拡大支援】（農林振興課）
390万円

桃・ぶどうを主とする果樹および市内産農畜産水産物その加工品等について国内外で消費宣伝事業を行い、笛吹市の知名度向上と市産農産物等の販売促進を図っていきます。





命を守り安心して暮らせるしくみづくり

消防施設整備事業【消防防災施設の設置・管理】（総務課）
9668万円



消防防災活動をより効果的に行うための消防施設として消火栓・防火水槽の設置や消防車両の配備、詰所の建設を行います。また、それらの維持管理を行います。平成26年度は詰所2棟の設計と消防車両4台の更新をします。

救急隊研修事務【救急隊員の養成】（消防本部消防課）333万円

救急車には常時救急救命士が搭乗し、救急活動を展開しています。この救急救命士の資格・技術を維持するためには、定期的な研修が必要となることから、各種研修等に積極的に参加し、技術の維持・向上を図ります。また、通信指令



環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり

豊かな自然を守り、循環型社会づくりを進める「環境にやさしいまち」、子どもから高齢者まで、誰もが自分らしい生活を地域で営むことができる「人にやさしいまち」として、地域のつながりを大切にしながら、安全・安心で、快適なまちをつくりまします。

災害に強い安全な備えづくり

備蓄品整備事業【災害被災者のための備蓄】（総務課）448万円



災害による被災者への必要となる物資の備蓄を行います。食糧、非常用トイレ、毛布、タオル、オムツ、歯ブラシなどを備蓄します。また、各家庭での備蓄を推進します。

自主防災組織活動支援事業【各地区での共助体制推進】（総務課）612万円



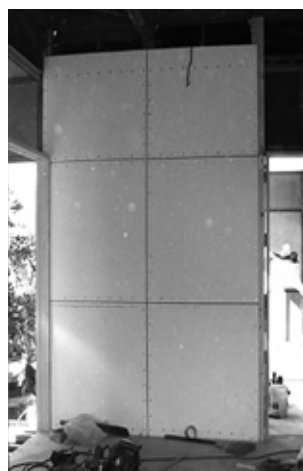
大規模災害時の自助・共助の重要性を啓発し、自主防災マップの作成支援など平常時から地域の組織づくりや平常時の地区活動の支援や地区防災設備費の補助などを行います。

火災予防啓発事務【火災を未然に防げ！】（消防本部予防課）77万円

火災予防運動等、あらゆる機会を活用し、防火意識と防火対策の必要性について市民の理解を深めることで、火災予防を推進します。また、住宅用火災警報器の設置は、住宅防火対策上極めて重要なことから、関係行政機関と連携しながら総力を結集し、設置を徹底していくとともに、設置された警報器を点検するよう推奨するなど、継続的な維持管理を働きかけ、市民の生命、身体、財産の安全・安心を図ります。



耐震診断事業・耐震化支援事業【特定建築物、個人住宅の耐震診断・改修・建替】（まちづくり整備課）2646万円



東海沖地震の発生時における被害を最小限に抑えるため、昭和56年5月31日以前に着工された木造個人住宅の耐震化を促進するため、木造個人住宅の無料耐震診断を行っており、耐震診断で総合採点1・0未満と判定された個人住宅には、耐震支援（改修・建替）事業を行っていきます。また、建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、不特定多数の者が利用する大規模な建築物について、耐震化を促進するため、耐震診断事業を行うものです。

快適で暮らしやすい生活環境づくり

公営住宅維持管理事業【入居者管理と施設維持整備】（管理総務課）9917万円

住宅のセーフティネットとして、低廉な家賃で快適な生活環境を提供するために、既存公営住宅等のストックについて長寿命化に資するための維持管理・改善等を効率的に進めます。平成26年度は芦川若者定住促進住宅・八代村上団地2号棟等の改修工事を行います。



第1次拡張事業【御坂及び境川関連送・配水管整備事業】（水道課）4億2236万円

御坂関連送・配水管整備事業においては、下野原配水場から石和地区への送・配水管の布設工事を行います。また、境川関連送・配水管整備事業においては、砂原橋取付け道路に送・配水管の布設を行います。



公共下水道整備事業「きれいな水環境をつくる」(下水道課)
3億9462万円



下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められてきました。今現在の笛吹市全体計画は3299・2ha、事業認可面積は2512・8haです。平成24年度末累計で約1951haの整備を完了し、普及率は58・9%です。現計画における完了年次は平成32年度を予定していますが、計画を通りの事業を継続することは財政的に厳しいため、整備計画の見直しを図っています。

美しい環境を大切にする社会づくり

ごみ減量化推進事業「市民自らごみを減量する取り組み」(環境推進課) 312万円



家庭から出される生活系可燃ごみの減量により地球温暖化防止等の環境対策に取り組めます。特に可燃ごみ中の組成割合が高い生ごみの資源化推進のため、家庭用生ごみ処理機等の購入者への補助金交付、EM菌を使ったボカシ製造団体・ダンボール箱での生ごみ堆肥化モニターへの材料配布を行っています。また、可燃ごみ53%減量達成のため、各地区への出張分別説明会、市内大型店舗等での店頭分別キャンペーンにより分別徹底を呼びかけていきます。

憩いと癒しの空間づくり

花と緑のまちづくり推進事業「花のある美しいまちづくり」(市民活動支援課) 891万円



「花と緑のまちづくり推進事業」は、花や緑でより良い生活環境をつくり、地域のコミュニティを展覧させ、生き生きとしたまちづくりを進めていくことを目的とします。市内各所の憩いの場、公園、公共施設や道路河川沿いに花を植えてまちの環境を美しくするため、花の栽培・管理育成を行おうとする地区、住民自治組織および団体等に対して花苗・種子等を配布します。文化財課と協力して甲斐国分寺跡へ花の植栽を進めます。また、花のまちづくりの成果と情報を伝えるためのパンフレットの発行、花のまちづくりに関する講演会も開催していきます。

安心して生み育てられる環境づくり

二次的健診相談事業「乳幼児健診後の支援のための相談事業」(健康づくり課) 163万円

母子保健法で定められた1歳6カ月・3歳の健康診査以外に、4カ月・10カ月・5歳でも健康診査を行っています。さらに、2歳で歯科検診を行い、心身の発育・発達の確認をしています。その中で、必要なお子さんには、二次的な健診、個別または集団の教室などの相談事業を展開しています。

子どもの成長とともに心配なことも変わってくるため、保育所(園)・幼稚園・学校とも連携を図り、その子どもにあった支援をしていきます。



子どもすこやか医療費助成金支給事業「子育て家庭の医療費支援(児童課)」 3億4947万円

子どもの健康増進と疾病の早期

高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり

笛吹市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画策定事業「健康で自立した生活と包括的な支援にむけた計画策定」(介護保険課) 413万円

高齢者が元気に活躍するまち、高齢者が安心して生活できるまち、高齢者が互いに支え合うまちの将来像を見据え、住み慣れた地域での生活を支える地域に根ざした地域包括ケアシステムの構築をし、「高齢者がいつまでも元気で



発見および早期治療を促進するとともに子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、中学3年生(15歳に達する日以降の最初の3月31日)までの児童の保険診療に係る一部負担金を助成して子どものすこやかな成長を支援します。

介護保険給付適正化事業「適正なサービス受給の確認をし健全な運営を目指す」(介護保険課) 485万円

不要なサービスが提供されていないか検証し、良質な事業展開をする上での必要な情報提供を行い、利用者にとって適切なサービスを提供できる環境の整備を図ります。適正化のシステムを導入することにより、事業者の立てたプランやサービスが受給された方にとって適切であるか、保険者としてより細かく確認し適正な介護保険事業の運営を図ることができます。



暮らせる環境づくり」を実現していくために、高齢者にかかる福祉施策及び介護保険事業計画(平成27年度から29年度)を策定します。

障がい者の自立を支援する環境づくり

障害者介護給付・訓練等給付事業、障害児通所給付事業「自立を支援する障害福祉サービス」(福祉総務課) 8億9020万円



障害者総合支援法および児童福祉法に基づくサービスの提供を行い、障がい児・者の自立を支援していきます。法律の一部改正等により、制度やサービス体系、サービス内容等がめまぐるしく変化していることから、市民や対象者への周知と啓発を行っています。





個性輝く人々が育ち、 活躍するまちづくり

夢や目標に向かって、生きる力、学ぶ力のある子どもを育むとともに、市民が地域の歴史・風土を知り、また、多様な文化・スポーツ活動を楽しむ中で、自らの生きがいと地域の誇りが培われるまちをつくります。

子どもたちの 個性を尊重する 学校づくり



芦川小学校屋内運動場耐震改築事業【安全で安心な学校づくり】（教育総務課）
2億5094万円

芦川小学校屋内運動場は、新耐震基準に適合しておらず、災害時の避難所でもあることから耐震改

修工事を実施します。また、屋内運動場建替えのためには、グラウンド周りの擁壁の改修が必要なため、グラウンド改修と併せ擁壁の改修も行います。

石和中学校校舎等改築事業【安全で安心な学校づくり】（教育総務課）
6億8333万円

石和中学校北館校舎（普通教室棟）および給食棟は老朽化が進行しているとともに、北館については使いにくい構造（バッテリー方式）であり、教育環境の整備が求

められていました。このため、継続事業として給食棟および北館の改築を行います。26年度は昨年度から引き続き給食棟を建築し、完成後は北館を改築します。

教育相談事業【子どもの成長を支える環境づくり】（学校教育課）
796万円

ふえふき教育相談室を中心にして教育相談員や自立支援員さらには指導主事が、不登校、問題行動等、児童生徒や保護者の悩みの相談に応じています。相談形態は、電話や来室による相談ばかりでな



将来像実現に向けた 取り組み

市民と行政の協働による まちづくり

市民ミーティング事業【笛吹市の今と未来を語る】（経営企画課）



現在の市の課題や事業への取り組み状況などの情報をお知らせす

地域コミュニティ施設建設助成事業【コミュニティセンター施設整備補助】（総務課）
250万円

各地区集落集会所の建設、耐震、下水道接続に係る経費の一部を補助します。

▼補助基準
○耐震補助 1地区 100万円
○建設補助 1地区 500万円

○下水道接続 1地区

35万円



男女共同参画推進事業【男女共同参画社会の実現】（市民活動支援課）
216万円



く、小中学校や各御家庭を直接訪問する等、きめ細かい対応で、悩みや問題の早期解決に向けて支援をします。

小中学校市費負担教職員配置事業【子どもの成長をサポートする環境づくり】（学校教育課）
7679万円

小中学校に、少人数による指導を行い確かな学力の定着を図るために、市費による「市担講師」を配置しています。また、小学校には、支援が必要な児童にきめ細かなサポートを行うために「学校サポーター」を配置しています。



男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画推進委員会を設置し、委員会の活動を支援しながら男女共同参画プランに掲げる各施策の推進と男女共同参画推進条例の周知を図っています。また、「市民だれもが相互に認め合い、住みやすく、子どもたちに輝く未来を託すことができる男女共同参画都市」の実現に向け、推進活動の促進を図るため、男女共同参画社会づくりに取り組む「男女共同参画宣言都市」を表明し、宣言文策定および記念式典開催の実現に向け取り組みます。

親しみやすく機能的な 市役所づくり

出前学習会事業【学習会への職員講師派遣】（経営企画課）

市役所の事業や制度などから市民の皆さんが知りたいこと、市職員が皆さんにお伝えしたいことなどをメニュー化して、分かりやすく伝えます。



笛吹市制施行九周年記念式典



市制10周年記念事業

【市制施行10年を記念した事業の実施】

(経営企画課) 300万円

平成26年10月12日で市制施行から10年が経過し、節目の年となります。合併後の10年を振り返るとともに、これからの笛吹市のまちづくりの起点として、笛のコンサート、未来座談会などを市制10周年記念事業として計画しています。

